

【JBA創薬モダリティ基盤研究会会員、JBA法人会員、JBA個人会員（アカデミア）限定】



JBA創薬モダリティ基盤研究会

オリゴ核酸の大規模製造プロセスの確立

開催日時：2024年2月28日（水）13時15分～14時40分

セミナー形式：MS-teams（定員120名）

主催：（一財）バイオインダストリー協会
創薬モダリティ基盤研究会

座長：和田 猛氏（創薬モダリティ基盤研究会副会長
東京理科大学 薬学部生命創薬科学科教授）

講師：高橋 大輔氏

（味の素株式会社東海事業所
AJIPHASEグループ長）



核酸医薬の実用化が大きく進展し、世界的にも注目される中、オリゴ核酸合成の重要性が増してきている。一本鎖のアンチセンス核酸、二本鎖からなるsiRNAなど新規モダリティ核酸の開発が進んでいる。我々はオリゴ核酸の効率的合成法AJIPHASE[®]技術の確立や、酵素的手法を組み合わせたsiRNAの新規製法などにより大量製造を果たしてきている。本講演では、オリゴ核酸の大規模プロセスによる供給体制の現状や、核酸製造の課題、今後の将来像について議論したい。

MS-teams：JBAホームページよりお申し込みください。

締切：2024年2月23日（金）17時

お問合せ：（一財）バイオインダストリー協会
（担当：渡邊、北嶋、岸本、瀬下）